

「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせに

社協だより 土佐 第86号

発行
土佐市社会福祉協議会
(高知県土佐市)
2024年 春号



【土佐市社会福祉大会】戸波小学校と高岡第二小学校の皆さん発表ありがとうございました！

目次

- 1・・・生活支援コーディネーター通信！
- 2・・・あったか通信！
- 3・・・福祉活動推進校の活動紹介
【戸波小学校・高岡第二小学校】
- 5・・・土佐市社会福祉大会 開催報告 / 日本赤十字社 活動・実績報告
- 6・・・赤い羽根共同募金 活動・実績報告



ムックンリニューアル！
(土佐市社協公式マスコット)

生活支援コーディネーター通信！

誰もが住み慣れたまちで安心して暮らし続けられるように、関係機関や行政、企業、そして地域の皆さんが協力しあって行なうまちづくりを目指して「生活支援体制整備事業」がスタートしました。その事業の中で、関係している皆さんをつなげて活動しやすくサポートするのが「生活支援コーディネーター」です。

私たちが生活支援コーディネーターです！

なかわき まよ
中脇 麻代

- 血液型：A型
- 出身地：黒潮町
- 土佐市の好きなおところ：
 - ・食べ物が美味しい
 - ・海がきれい

昨年春に入職しました。子どもから高齢者まで、誰もが住みやすい街づくりを目指して「土佐市の魅力」を全力でお伝えしていきます！



ゆのうえ ゆい
湯上 優依

- 血液型：O型
- 出身地：高岡町
- 土佐市の好きなおところ：
 - ・美味しいものがたくさんある
 - ・人が優しい

昨年度に引き続き、今年度も生活支援コーディネーターとして皆さんの地域へお伺いします！
よろしくお願いいたします！



生活支援コーディネーターって何をするの？

①自分らしさの発揮をお手伝い

人と人とのつながりが深まることで、お互い気かけ合い、支えたり、支えられたりするような日常的な支え合いを、私たちは地域のお宝として大切にしていきたいと考えています。

②発信する

「社協だより土佐」などを通じて、地域の情報やみなさんの元気の秘訣を発信します。



③探す

みなさんの活動や特技など、地域のお宝を探しています。

④創る

「みんなが自分らしく安心して暮らせる土佐市」を目指して、地域にあったらいいなを皆さんと一緒に考えつくっていきます。

【問い合わせ先】土佐市社会福祉協議会・地域福祉課

湯上・中脇（852-2145）

子どもから高齢者まで、年齢や障がいの有無にかかわらず誰もが気軽に集い、必要なサービスをうけることができる高知型地域共生社会の拠点です。(介護保険サービスではありません)

開所日時 月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く) 9時00分～16時00分

利用料無料!

集い

場所 土佐市高岡町甲1771(旧土佐市老人憩いの家)

相談

電話番号 ☎ 088-881-5472 ☎ 090-7783-7814

(飲食代や創作活動にかかる材料費等は自己負担となります)

生活支援

認知症カフェ「あったかつながりカフェ」ってどんなところ?



認知症カフェ
あったかつながりカフェ
令和6年度 年間スケジュール

| | |
|--|--|
| <p>第19回 4月4日(木)</p> <p>「身近な人が認知症になったら?」 グループホームひよし施設長 認知症介護指導者 中山 厚志 氏</p> | <p>第20回 6月6日(木)</p> <p>「認知症ケアの基本」 元グループホーム管理者 市原 武 氏</p> |
| <p>第21回 8月1日(木)</p> <p>「コミュニケーションが心をひらく」 こなつデイサービス 管理者 三宮 真由香 氏</p> | <p>第22回 10月3日(木)</p> <p>「認知症と失語症のちがいは?」 高知リハビリテーション専門職大学 言語聴覚士 池 聡 氏</p> |
| <p>第23回 12月5日(木)</p> <p>「土佐市住宅改造支援事業について」 土佐市長寿政策課高齢者支援係</p> | <p>第24回 令和7年2月6日(木)</p> <p>「ケアマネジャーって何する人?」 たんばほ居宅介護支援事業所 ケアマネジャー 森本 めぐみ 氏</p> |



認知症の方が参加するところなんでしょう?

いいえ、違います。誰もが参加できますよ。



カフェって書いてあるけど、飲み物があるの?

はい、あります。コーヒーを飲みながら気軽に集い、認知症について学ぶことができます。飲み物は無料です。



認知症カフェ

「あったかつながりカフェ」は...

認知症の方、そのご家族しか参加できないものではありません。認知症について理解を深め、認知症になってもお住まいの地域でいつまでも暮らしていくことができるよう「情報提供」「情報収集」「交流」「集い」の場を目指しています。気軽にお茶を飲みながらお話ししてみませんか?



参加申し込みは必要ですか?

申し込みは必要ありません。当日、参加された方には名簿に記名をお願いしています。



土佐市には、あったかふれあいセンター高岡の他に2箇所のあったかふれあいセンターが開所しています。運営団体は異なりますが、類似の活動やそれぞれの個性ある活動をおこなっていますので、是非一度ご参加してみてください。

宇佐 あったかふれあいセンターさくら貝 (088-856-0322)

戸波 あったかふれあいセンターとさ (088-855-1385)

福祉活動推進校 令和5年度活動紹介

土佐市内の小中学校、高等学校の児童・生徒を対象として、社会福祉への理解と関心を高め、ボランティア精神、福祉の心を養うとともに、子どもたちを通じて家庭や地域社会への啓発をおこない、児童・生徒等を中心に広く住民の福祉活動への参加を促進させることを目的としている事業です。

市内推進校加盟校

小学校(9校)：宇佐小学校、新居小学校、高石小学校、高岡第一小学校、高岡第二小学校、蓮池小学校、波介小学校、北原小学校、戸波小学校

中学校(3校)：土佐南中学校、高岡中学校、戸波中学校

高校(2校)：海洋高校、高岡高校

戸波小学校

『誰もが大切にされる社会を目指して』

4年生 竹村 皆人 種田 花道 矢野 陽

誰もが大切にされる社会を目指すために、私たちは、「地域とのつながりを大切にする」「学びをふだんの生活に活かす」「さまざまな人の視点で物事を考えることが大切だ」ということを学びました。

車椅子体験

実際に乗ってみたい、おしてみたいすると普段は気づかないことがたくさんありました。また、地域のお店におじゃまさせてもらって、店内を車いすで移動しました。普段はほしい商品を手にとることができるけれど、届かないところにたくさん商品がありました。お店のたなとたなの間は車いすが一台通れるくらいの幅しかなく、すれ違うことなどが難しいことがわかりました。



高齢者体験

高齢者体験では、高齢者の方の手足・視界がどうなるのかを体験しました。手袋をつけた上から人差し指と中指、薬指と小指をそれぞれテープで固定し、名前を書いたり、財布の中からお金を取り出したりしました。白内障や緑内障の体験をするためにゴーグルを装着し高齢者の方の視界の見え方について体験しました。また、足やうで、おなかに重りをつけて歩きのしにくさも体験しました。いつもならあまり感じない、ちょっとした段差が見えず、足も上げにくいためとてもこわく感じました。この体験を通して高齢者の方の立場に立って考えるきっかけとなり、自分たちなりにちょっとしたことでもお手伝いすることができるかを感じました。



ふくし交流プラザ見学

高齢者の方や障がいのある方たちの困ることを解消していくための道具があることをふくし交流プラザ見学で知ることができました。この見学から、高齢者の方たちが使う道具を知っておくことがとても大切だと感じました。道具を知っていると何に困るかがわかるので、声をかけやすくなるからです。



その他にも戸波小学校は、全校のみんなが保護者の方々や地域の方々に協力していただき、大変お世話になっています。民生委員・児童委員やしあわせ会の方々、児童センターや市民センターの方々には学校に来て一緒に活動をしていただき、地域と学校とのつながりを感じる機会になっています。これからも、たくさん学ばせてほしいと思っています。



高岡第二小学校 『地域とともに歩む学校を目指して』

本校は、清滝山の麓、山の手地区に位置し、古い歴史と豊かな自然に恵まれた場所にあります。市内でも数少ない児童数増の学校となっていますが、核家族化等で地域内の人々の結びつきや地域の教育力、コミュニティ力が課題となっています。本校では、教育目標である「きらきら いきいき 山の手っ子」を学校が中心となりながらも、地域とのつながりの中で実現していくことが、地域に住むすべての人の幸せにつながると考え、取組を進めてきました。

みんなが安心・安全で笑顔あふれる地域づくり

今年度は、社会福祉協議会の方々にも協力していただき、高齢者疑似体験や車いす体験を行いました。相手の気持ちを考えることや思いやることなどを学ぶ中で、みんなが安心・安全で笑顔あふれる地域をつくっていくのが本校の福祉活動だと再確認し、人とかかわりを意識した取組を進めています。



あいさつ運動

人とのつながりの第一歩となるのが、あいさつです。本校では児童会が中心となり「三木の日」以外にもあいさつ運動に取り組んでいます。給食放送の時に「今日のあいさつ MVP」を発表したりしながら、みんなが自分からあいさつできる学校をめざしています。また、朝の登校指導の時には、守り隊の方や保護者の方もあいさつ運動に協力してくれています。あいさつは、相手の存在そのものを認めることです。進んであいさつをしたり、素直に感謝や謝罪の言葉を述べたりする中で、思いやりの心や相手の気持ちを考える力が育っていくと考えています。



環境整備

美しい環境は人の心を落ち着かせ、安定して過ごせる環境をつくると考えます。本校では、全校花植えや人権の花植えなどに取り組んでいます。地域の方々と花を植え、大切に育てることで豊かな心が育っていくと思います。また、育成会の方や地域の方、保護者の方と一緒にクリーン作戦も行っています。美化委員会が中心となり、全校のみなでごみの多い場所等を調べておき、当日は大人も子どももみんなで自分たちの住む山の手地区をきれいにしていきます。その他にも、日ごろから学校に目を向けてくださっている地域の方が、グラウンドや学校周辺の草刈等を行ってくれており、本当に地域の方に支えられている学校だなと感じます。



地域の方々とのつながりの中で

地域の方とのつながりを感じ、感謝することは、授業や行事の中にもたくさんあります。校外学習、米づくりや文旦づくりなど、地域の方からたくさんのお話を学ばせていただいています。また校外へ出かけるときは、守り隊の方がサポートしてくださったり、毎週水曜日の朝はブック隊の方が来てくださり読み聞かせをしてくださっています。そして高岡第二小学校と言えば「山の手ふれあいフェスタ」ですが、ここ数年コロナの関係で開催することができていませんでした。そこで今年は、地域のみなが集まりともに楽しめる1日にしようと、11月の第3日曜日に「交流参観日」として開催しました。1・2年生は育成会や地域の方たちと一緒に「三世代交流餅つき」を、3年生から5年生はみんなで楽しめるゲームのブースづくりを、6年生は全校分の昼食（カレーライス）をつくりました。PTAの方も大人分のカレーや豚汁をつくってくれました。この日は共同募金活動も行い、児童会の人たちが募金箱を持って回ったり、PTAは昼食を無料配布する代わりに募金に協力してくださったりして、皆さんからの善意のお金を集めることができました。

私たちは、いろいろな人とかかわることによって、学校の教科とは違うたくさんの学びを得ることができています。また、地域の方からのたくさんの学びを通して、私たちの住む山の手地区のよさを、より深く知ることができています。これからも人とのつながりを大切にする様々な活動を続け、地域の方とともに、大人も子どもも、だれもが「きらきら いきいき」できる取組を進めていきたいと思ひます。



第46回土佐市社会福祉大会を開催しました！

令和6年2月3日（土）、土佐市複合文化施設「つな一で」において、第46回土佐市社会福祉大会を開催しました。当日は、福祉活動功労者への表彰のほか、戸波小学校、高岡第二小学校による福祉活動推進校の活動発表が行われました。また、さんすい防災研究所代表の山崎 水紀夫氏を講師にお招きし、「災害時における地域の支え合い活動～平時・発災時・災害後の役割と活動～」と題して講演して頂き、自分たちの街における防災について考える機会となりました。

受賞者の皆さま
おめでとうございます

会長表彰
武森 敏 様

会長感謝状
國則 英機 様
金子 和重 様
前田 直孝 様
森 健 様

社会福祉活動協力者
西村 信子 様

ボランティア活動
森下 和子 様
小松 三紀 様



日本赤十字社 ～ 人間を救うのは、人間だ。～

地域での義援金募集活動

令和6年1月1日の能登半島地震では甚大な被害もたらされ、日本赤十字社では災害義援金を受け付けています。土佐市では「チャリティ活動を通じて義援金を募りたい」という声に賛同した地域住民が主体となり、日赤の義援金活動が行われました。それぞれの作家さんが自身の作品を持ち寄り、売上金は令和6年能登半島地震の義援金として寄付されました。こうした活動は様々な個人や団体からも報告を受けており、土佐市地区事務局を通じて振り込みをさせて頂いております。なお、義援金の寄付は銀行窓口で直接振り込むことができますし、指定の銀行（四国銀行・高知銀行・ゆうちょ銀行）

であれば手数料は不要です。皆さまから集められた義援金は、一旦、日赤本部へ集められ、全額が被災地への自治体へ送金された後、被災者一人ひとりに公平に配分されます。



令和5年度実績

令和5年度 土佐市地区活動資金（寄付金）
実績額：2,619,321円

皆さまから頂いた活動資金の一部は、土佐市各地区自治会長協議会への配分や赤十字奉仕団の活動、炊き出し訓練など地域のために活用しています。



赤い羽根共同募金 ～ じぶんの町を良くするしくみ ～

〈募金活動の輪が広がっています！〉

学校募金

令和5年度より土佐市内の小学校・中学校・高等学校、全14校の学校の参加となりました。学校の朝のあいさつ運動、参観日や学校行事での募金箱の設置、各家庭への呼びかけなど様々な形での募金活動にご協力頂きました。

街頭募金

例年、高岡中学校のみの参加でしたが、令和5年度より高石小学校と高岡高等学校が参加し、全3校での実施となりました。

▶ サニーマート高岡店

高岡中学校の生徒と高石小学校のみなさんが合同で募金活動をしました！



▶ 業務用スーパーポプラ店

毎年ポプラ店さんには街頭募金活動にご協力を頂いています！



▶ 地のもん市場ハレタ

今年度、ハレタさんご協力のもと、高岡高等学校の生徒が初めて街頭募金活動を行いました！



令和5年度 実績報告

このような活動に使われています！

- ・ 80歳以上の独居高齢者への配食サービス
- ・ 福祉活動推進校への助成 (P3-4を参照)
- ・ 土佐市社会福祉協議会が主催する社会福祉大会やふれあい運動会、住民座談会の実施
- ・ 広報誌の発行
- ・ 地区社会福祉協議会を通じた、地域行事の開催や子ども会などの団体への助成
- ・ 地域で活躍する団体への助成 など

実績額：5,025,296円

総件数：496件

| | | |
|-------|---|-------------------|
| 自治会 | ： | 3,099,800円 (136件) |
| 企業団体 | ： | 1,421,922円 (247件) |
| 個人 | ： | 366,000円 (91件) |
| 学校募金 | ： | 76,359円 (14校) |
| 街頭募金 | ： | 55,772円 (4件) |
| 市内募金箱 | ： | 5,422円 (3件) |
| その他 | ： | 21円 (1件) |



ご協力頂きました企業や地域の皆さま、学校や保護者の皆さま
赤い羽根共同募金へのご協力、誠にありがとうございました！

相談 4月以降の相談対応

■ 総合相談

日常生活に関するさまざまな不安やお悩み、課題、問題について相談されたい方はこちら。

事前にご連絡いただければ、待ち時間なく対応できます。

■ ふれあい相談

人権や相続、家族に関することで不安やお悩みを抱えている方はこちら。

事前にご連絡いただければ、待ち時間なく対応できます。

毎週月・水・金曜日 10:00~12:00 / 13:00~15:00

■ 無料法律相談 (弁護士相談)

奇数月の第3水曜日に弁護士に来ていただいております。

ふれあい相談での面談後の予約受付となります。

相談日：5月15日(水) / 7月17日(水) / 9月18日(水)

会員 社協会員の募集

土佐市社会福祉協議会では、誰もが安心して暮らしていただけるように、地域福祉の推進を行っております。

制度の狭間で取り残されてしまっている方々を救うため、ボランティア活動の促進を図るため、災害ボランティアセンターの設置運営訓練等のために、皆様からいただいた社協会費を活用させていただいております。

■ 令和5年度社協会費実績 (令和6年2月25日時点)

| | |
|----------|------------|
| 自治会会員 | 1,665,230円 |
| 特別会員(個人) | 3,000円 |
| 特別会員(団体) | 113,000円 |
| 合計 | 1,781,230円 |

▶会費へのご協力を
よろしくお願
いします

| | |
|----------|--------------|
| 自治会会員 | : 300円 × 世帯数 |
| 特別会員(個人) | : 1,000円~ |
| 法人会員(団体) | : 2,000円~ |

訂正 社協だより土佐85号 内容の訂正とお詫び

前号「社協だより土佐85号」にて、掲載内容に誤字がございました。以下の通り訂正してお詫び申し上げます。

■ 社協だより土佐第85号

1ページ上部

【誤】「宇佐民謡クラブ」



【正】「宇佐民踊クラブ」



感謝 ご支援ありがとうございます

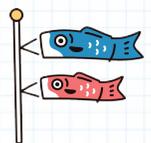
■ 土佐市社会福祉協議会への寄付(令和6年2月末までの分)

匿名様 ジュース詰合わせ
匿名様 1,000円・書き損じハガキ・未使用切手
匿名様 紙オムツ

他、たくさんの方にフードバンクへ食品・お菓子等の寄付を頂きました。

■ こいのぼりの寄付(受付終了しました)

山中 佳予子様 ほか



こいのぼりの寄付をたくさんの方より頂きました。土佐市社協で受付したのち、土佐市役所様へお渡しし、必要な方へお届けするようになっていきます。

これまでのご協力誠にありがとうございました！

【編集・発行】 社会福祉法人 土佐市社会福祉協議会

■ 本所 (総務課 / 相談支援課 / 地域福祉課)

開所時間 「月~金曜日 8:30 - 17:15」 休日 「土日・祝日 / 年末年始」

〒781-1102 土佐市高岡町乙 3451-1 土佐市複合文化施設つな一で 3F

TEL.(088) 852 - 2145 FAX.(088) 852 - 3194

■ あったかふれあいセンター高岡

開所時間 「月~金曜日 9:00 - 16:00」 休日 「土日・祝日 / 年末年始」

〒781-1101 土佐市高岡町甲 1771 (旧 土佐市老人憩いの家)

TEL / FAX.(088) 881 - 5472 携帯 .090 - 7783 - 7814



ホームページも
見てね！

